

日 時 : 2016年 3月 16日 (水曜日) : Kick Off 16:00

場 所 : Stadium MPPG, Johor, Malaysia

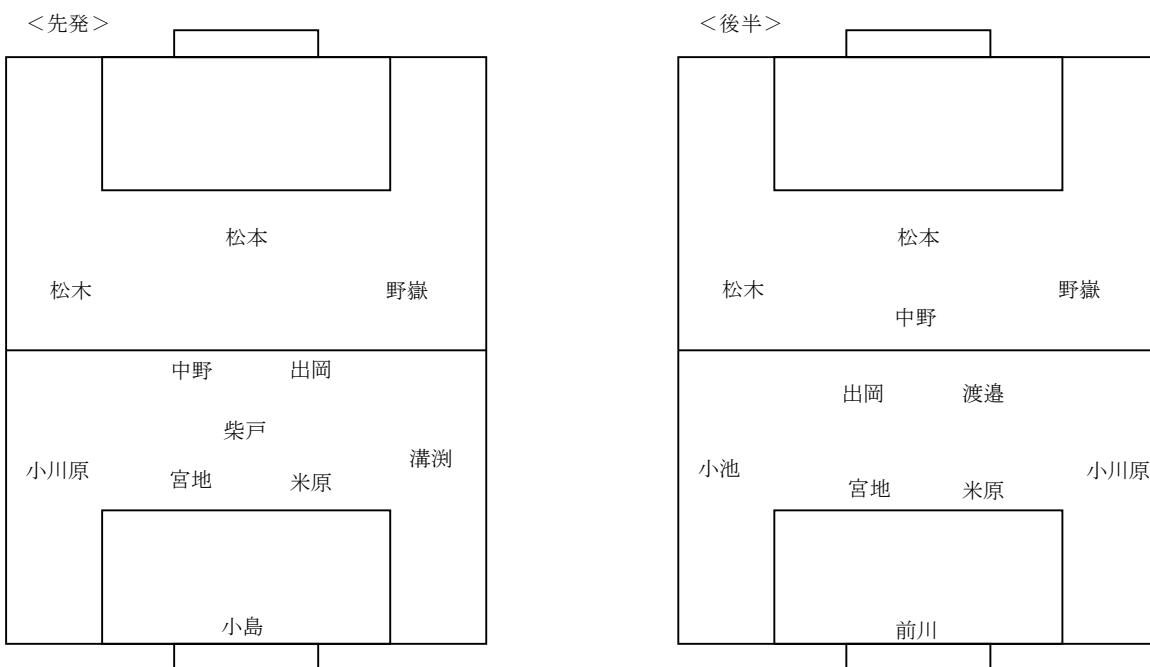
■ 試合結果 ■

全日本大学選抜	5	<table border="1"><tr><td>1-0</td></tr><tr><td>4-0</td></tr></table>	1-0	4-0	0	JDT セカンドチーム
1-0						
4-0						

■ 得 点 ■

[ 時 間 ]	[ チーム ]	[ 得点者 ]	[ アシスト ]
29分	全日本	中野	松本
48分	全日本	松本	小川原
73分	全日本	野嶽	松本
88分	全日本	手塚	小川原
90+2分	全日本	松木	渡邊

■ 布 陣 ■



■ 交代 ■

- 13分 溝渕→小池  
HT 柴戸→渡邊  
58分 小島→前川  
67分 出岡→鈴木  
76分 小池→高尾、松本→ジャーメイン  
82分 中野→手塚

■ 戰 評 ■

全日本大学選抜とJDTセカンドとの試合がMPPGスタジアムで行われた。ファーメーションはJDTセカンドの1-4-4-2に対して、全日本は1-4-1-4-1で試合に臨んだ。試合立ち上がりの固さが目立つ全日本は、自陣にプレッシングゾーンをセットした相手に対して、シュートまで持ちこめない展開が続く。徐々に、テンポ良くボールを動かしながら、相手のバイタルエリア（DFラインとMFラインの間のエリア）を起点に攻撃を仕掛けると、前半29分、左サイドからのクロスを松本が胸でコントロールし、丁寧に中野にパス、豪快にシュートを打ち先制する。後半に入っても、全日本は試合の主導権を握りながら試合を進める。後半3分には、小川原のクロスを松本が押し込み、追加点をあげる。全日本は運動量が落ちてきた相手に対して、メンバーを交代しさらに攻勢を強める。そうすると、後半28分、右サイドでボールを受けた野嶽が松本とワンツーで抜け出し、3点目を挙げる。その後、終了間際に追加点を重ねて5-0の完勝で試合を終えた。前回のトレーニングマッチ以上に、グループとして連動した攻撃が多く見られた。日韓戦に向けての最後のトレーニングマッチを内容・結果ともに良い形で終えたことは非常に良い収穫である。最後に、リーグ期間中にも関わらず協力して頂いたJDTのチーム関係者の皆様に改めて謝意を表したい。

(文責:全日本大学選抜コーチ 田村達也)